



社会福祉法人 しらゆり会

業種 社会福祉事業

事業内容 障がい者福祉事業
高齢者福祉事業
保育園

創業 昭和42(1967)年4月1日
代表者 理事長 国頭 正治
社員数 389名(男97名 女292名)
〒690-0021
島根県松江市矢田町534-8
TEL/0852-21-0789
<http://www.sirayurikai.or.jp/>

[障がい者福祉事業]

- 泉の園 ● 希望の園 ● ねくすど
- ワークセンター島根 ● 互助の館
- 光洋の里 ● さざなみ

[高齢者福祉事業]

- 夢楽の郷 ● 詔光の里
- きらめき ● ねざらい ● ナイス ● 暖心

[保育園]

- しらゆり保育園 ● しらゆり第2保育園
- しらゆり第3保育園 ● しらゆり千鳥保育園

求める人材像 Check!!

- 何事にもコツコツと取り組める人
 - 目標と課題を意識し、率先して行動できる人
 - 相手の立場になって考えることができる人
- しらゆり会はそんなアナタを求めています!!

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0852-21-0789

採用直通 E-mail

s.toukatujimukyoku@sirayurikai.or.jp

資料請求

インターンシップ

会社見学

動画サイトは
こちら



公式サイトは
こちら



子どもたちからパワーをもらい、楽しい毎日を送っています!



保育士
横原 佑香さん
[2019年採用]

Q. 保育士をしていて
どんな時が楽しいですか。

A. 子どもたちが見つけたり、考えたりした遊びに「子どもの発想力が無限大!」「おもしろい!」「こんなことができるようになったんだ!」と驚くことが多く、毎日楽しいです。子どもたちの日々の成長を子どもや保護者の方や先生たちと一緒に喜び、笑いあえることも楽しみのひとつです。



保育士
松本 璃加子さん
[2019年採用]

Q. どのような職場ですか。

A. どの先生とも保育だけでなく、たわいのないことなどいろいろな話がしやすい、明るい雰囲気の職場です。相談をしたい時、悩んでいる時などしっかり話を聴いて、常に声をかけて励ましてくださる先輩や同僚が多く、元気をもらいながら働いています。

まさに「出会いは宝物」です!



保育園 課長
齋藤 真由子さん
[1994年採用]

Q. しらゆり会に入ってきたきっかけは。

A. 保育園に通っていた幼い頃、登園時に母親と離れるのがとても嫌でした。そこで、子どもに寂しさを感じさせない保育士を目指すように。姉が同じ法人に勤めていて、職場の雰囲気の良さや福利厚生充実ぶりなどを聞いていたので入職を決めました。

Q. ワークライフバランスは
実現できていますか。

A. 独身時代は「寿退社」を目指していましたが(笑)。でも結婚後の方が仕事とプライベートにメリハリが生まれ、以前よりやりがいを感じるようになりました。出産後は、我が子の育児からの学びと、保育士としての学びを相互に生かせるようになり、さらに仕事を楽しみました。

Q. 管理職の魅力は。

A. 上司の勧めを機に、ステップアップを目指し、約10年間主任保育士を勤めた後、現在は課長に。担任クラスだけでなく、園全体を見るようになることで、視野が広がりました。子どもたちや保護者の方々はもちろん、保育スタッフも守るという使命感が一層強まりました。



4



5



1



6



3



2

1 2 3 しらゆり第2保育園での保育の様子。子ども達の笑顔が弾ける 4 施設や保育園にソーラーパネルを設置。今後も建て替えや改修を機に設置を進める 5 「すまいるプロジェクト」の活動の一環でひまわりの種を花壇に植える 6 「人と人との関わり合いで成り立っているのが福祉という仕事」と温かい表情で語る国頭正治理事長

社会福祉法人 しらゆり会

「出会いは、宝物」 人と人との関わりが新たなつながりに

心を通い合わせて
人を育み、支援する

ウイズコロナ時代、ソーシャルディスタンスや非接触が当然のごとく求められるようになった。しかし、抱きしめたり触れ合ったり遊んだりすることは、子どもの心を育む。手を握ったり体をさすったりすることは、高齢者や障がいを持つ人の不安や痛みを和らげる。「濃厚接触」するのが福祉。リモートは不可能だし、ロボットに頼ることもできない。人間が心を通い合わせることでしかできない仕事なのです」と強調するのは、《社会福祉法人しらゆり会》の国頭正治理事長(88)だ。コロナ禍は、人にかできない福祉の魅力が改めて浮き彫りにした。

松江市内でも子どもを預けられる施設が少なかった1966年、間借りした農家の納屋の2階で保育園を開設。その後、地域の要請と共に事業の幅を広げていく。創業者の国頭正巳さんが福祉に目覚めたのは、自宅が遭遇した火事だった。「父は家も看るものも失い、地域の人にとっても助けてもらったようです」と国頭理事長。家族だけでなく、社会として支え合うシステムの重要性を身に染みて感じたという。現在は松江市と境港市内の17事業所で、保育、高齢者福祉、障がい者福祉を展開する。しらゆり会が最も大切にしている理念は、「出会いは、宝物」。福祉は人と人との関わりで成り立っている。「例えば保育園児は0歳で入り5歳で巣立っていきます。実際に関わる時間は永久ではありませんが、生まれたつながらりは消えません。一つ一つの宝となって、その人を支え、次のつながりを生むのです」と国頭理事長。半世紀を超える法人の歴史の中では、卒園児が保育士となって戻ってきたり、スタッフが昔から知る地域の人や年を重ねて施設の利用者になったりすることもあったという。

良質な福祉サービスを提供するためには、地域がよりよい状態でない限りはならない。SDGsへの取り組みも積極的に進んでおり、近年建て替えた施設は高断熱仕様にして太陽光パネルを設置。スタッフの7割が女性が占め、管理職の割合も高い。各施設で大量に廃棄される紙オムツの資源化も検討しているという。「福祉は、「こうあらねばならない」と一面で語れません。いろいろな方に関わってもらい、しあわせづくりの一端を担ってもらいたい」